

提言第 3 号 注射剤によるアナフィラキシーに係る死亡事例の分析

事例番号：事例9

< 事例概要 >

- ・ 虫垂切除術の 50 歳代男性。手術室で発症。死亡時画像診断（Ai） 有、解剖有。
- ・ 原因薬剤は、筋弛緩薬のエスラックス。
- ・ 市販の解熱鎮痛薬を使用し、アレルギー症状の出現有。
- ・ 全身麻酔でエスラックス投与 2 分後、挿管直後より換気困難となる。6 分後の気管支拡張薬吸入でわずかに換気可能となるが、10 分後に経皮的動脈血酸素飽和度（SpO₂）低下・心電図上ST上昇を認め、11 分後にアドレナリン100 μg（0.1 mg）静脈内注射。13 分後に心停止。アドレナリン1 mg を静脈内注射し救急処置を実施するが、約 6 時間後に死亡。